

# しおさい通信

No. 2 4

平成26年6月号

指定就労継続支援B型事業所 しおさい  
三崎：銚子市三崎町 3-82 TEL：0479-23-9012  
春日：銚子市春日町 2058-1 TEL：0479-25-3475  
HP：http://npo-new.org/



5月8日（木）、千葉市中央公園と千葉市文化センターを会場にして行われた「第25回心のふれあいフェスティバル」（主催：千葉県・千葉市・NPO法人千葉県精神保健福祉協議会）に、しおさいとかんらんのメンバー・職員及び家族会，ボランティアさん合わせて総勢61名で参加しました。（受付の方が参加人数の多さに驚いていたそうです。（^\_^;））

中央公園内に設営された14張のテントでは、千葉県内の56団体が、製品や作品の展示・販売を行っていました。しおさいも蒸しパンやクッキー類，布製品，毛糸で作ったカラフルな動物の置物などを販売しました。

今年は、中央公園の特設ステージでの“青空パフォーマンス”にはエントリーせず、文化センター内のアートホールで行われた“演芸大会”に、参加メンバー全員と職員などが出演して、春日メンバーのNさんのピアノ演奏に合わせて「翼をください」を合唱しました。



▲インタビューに  
答えるメンバー



▲販売の準備をする職員とボランティアさん▲



# しおさい春日が歯科医院に!?

## ～ビーバー号来所～

5月22日(木)、しおさい春日にビーバー号が来所し、希望メンバーの歯科検診と歯みがき指導が行われました。

ビーバー号は、千葉県歯科医師会が福祉政策事業の一環として県内各地の障害児(者)施設を、改造した大型バス(診療イス、レントゲン撮影機装備)で巡回し、検診と障害に合わせたセルフケアの指導、保護者や職員へのホームケアの指導などを行なっています。

この日、いつもは作業用のテーブルやイスが並んでいる春日の室内が、ヘッドレスト付きのイスや検診用具、手鏡、歯ブラシが用意されたテーブルに配置換えされ、にわか“歯科医院”と化していました。

今回、検診に参加したのは春日通所メンバーの約4割にあたる13名でしたが、まず医師による診察を行い、歯の健康状態をチェックしました。その後、歯の汚れを赤く可視化する「染め出し」を塗り、歯科衛生士の指導で、鏡を見ながら適切な歯磨き方法を教わりました。

最後に行われた希望者による質疑応答では、医師が「虫歯のある人は、歯科医院に行って治療しましょう」と話されました。



▲ビーバー号



▲歯科医による診察①



▲歯科医による診察②



▲歯磨き指導①



▲歯磨き指導②

### 編集後記

私の家に隣接する駐車場に、今年もまた大待宵草(オキザリクサ)の黄色い花が咲き出しました。この花は北米原産の帰化植物(国外から人為的に持ち込まれて、野外で生育するようになった植物)ですが、背高泡立草(セウキカクサ)のように在来植物を駆逐(くちく)しながら大繁殖することもなく静かに根付いており、竹久夢之の「宵待草」の基になった植物ではないかと言わせています。ところで最近、大金鶏菊(オキザリクサ)という植物が問題となっています。この時期、コスモスに似た鮮やかな黄色い花を咲かしているのを見かけます。国ではこの植物を特定外来生物に指定しており、銚子市でも広報等を通じて根ごと抜いて処分するよう呼びかけています。その効果が出たのか去年より少ないように感じます。ただ、近隣市では対応が遅れているのか、九十九里浜に面した道路沿いでは、“お花畑”状態の場所が結構見受けられます。繁殖力が強く、どこでも根を下ろすこのような植物の駆除にも、自治体間の連携や協力が必要のようです。